



東白川小だより

令和5年10月20日(金) №8

校長 桂川 辰也

大声が出せる！



9/30(土) 爽やかな秋晴れの下、保護者や多数の来賓の皆様に見守られながら、東白川小学校の運動会を行いました。今年の運動会はコロナ禍が明けて、最初の運動会です。やっと何の気兼ねもなく、大きな声を出して元気いっぱいに歌ったり、応援したりすることが許されました。運動会終了後、多くの保護者や関係者から、「開会式のエール交換ゴーゴーゴーを歌う様子を見ていたら、思わず涙が出てしまいました。」「少ない人数でも団席から大きな声で応援する姿にとっても感動しました。」等のお言葉をいただきました。私も全く同感です。大きな声を出すことが許されない数年間のモヤモヤが晴れた気がしました。

地域の教育力！

元気よく「おはようございます」と声をかけてくれる児童がたくさんいます。その中でも、ダントツで嬉しいと感じる児童の挨拶を紹介します。2年生のHさんの挨拶です。彼の挨拶が嬉しいのは、50mくらい離れた遠くからでも、私の姿が見えると直ぐに大きな声で「おはようございます」と言ってくれることです。私が背中を向けている時でも元気いっぱい挨拶してくれるのでビックリするときもあります。こんな素敵な彼の挨拶ですが、半年前はこうではありませんでした。彼を変えたのは森林組合の皆さんです。彼は毎朝森林組合の前を一人で歩いて登校します。

「おはよう、朝から元気いいなあ！」「おはよう、半そで、半ズボン、寒くないか？」

一人で歩く彼にむけて、おじさん達が色々な声をかけてくれます。声をかけられることの心地よさを感じたのだと思います。少しずつ彼の声が大きくなり、いつしか、遠くにいるおじさんにも「おはようございます」と自分から言うようになっていました。